年間授業計画

足立工科 高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 美術Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書： 日本文教社 高校美術１

教科 芸術　の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する力を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A「オリエンテーション」 【知識及び技能】 年間の美術Ⅰの学習内容及びその目標について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作例、生徒作品や教科書の鑑賞をとおして、創造的な表現の工夫について見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な活動に主体的に取り組む。	指導項目 ・年間の学習内容 ・使用する教材、持参する用具類 ・生徒作品の鑑賞 ・教科書作品の鑑賞 内容 年間の学習内容とその目標について、制作例を取り上げることで美術Ⅰの学習のイメージを持たせ、教科書を使用して学びの意味について考える。				○	【知識・技能】 年間の学習内容とその目標について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 作例、生徒作品や教科書の鑑賞をとおして、創造的な表現の工夫について見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B「名画の模写－地獄におちた魂」 【知識及び技能】 鉛筆の線や濃淡による制作を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 迫真に迫る表現について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 名画の模写に主体的に取り組む。	指導項目 ・ミケランジェロの生涯 ・作品の構図、顔の表情 内容 ミケランジェロの人物素描の模写をとおして、表現方法を学び、表現の意図について考える。	○			○	【知識・技能】 鉛筆の線や濃淡による制作方法を理解している。 【思考・判断・表現】 名画のもつ造形的なよさや美しさを理解して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 名画の模写に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	C「自画像－鏡に映らない自分とは」 【知識及び技能】 構図や表情、色彩効果、全体のイメージを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 構図や表情などの効果を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 内面の表現に主体的に取り組む。	指導項目 ・鉛筆描画－構図やポーズ ・明暗・質感 ・絵具着彩－淡彩表現、混色と重色 ・教科書作品の鑑賞 内容 表情やポーズを工夫し、鏡に映らない「私」を表現する。	○			○	【知識・技能】 構図や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 目的や意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考・判断・表現】 自己を見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の内面を探り、感じ取ったことや考えたことなどを基にした自画像を描く表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D「ローマン体レタリング」 【知識及び技能】 字画を構成するパーツの特徴やスペーシングについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 並び線をつかい文字を整えて表す。 【学びに向かう力、人間性等】 創造的活動に主体的に取り組む。	指導項目 ・ローマン体レタリング ・教科書作品の鑑賞 内容 ローマン体を取り上げ、レタリングをとおして文字の持つ美しさについて理解を深める。	○			○	【知識・技能】 字画を構成するパーツの特徴やスペーシングについて理解している。 【思考・判断・表現】 並び線をつかい文字を整えて表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 創造的活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	E「名画の模写－最後の晩餐」 【知識及び技能】 空間を表す遠近法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニットによる群像表現や演劇的な手による表現について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 創造的活動に主体的に取り組む。	教科書より「作家探求　レオナルド・ダ・ヴィンチ」を取り上げ、「最後の晩餐」鉛筆模写を通して作者の表現と意図について考える。 ・レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯 ・キリストと１２使徒について ・消失点（vanishing point） ・線遠近法と空気遠近法、その他 ・作品の構図、使徒の構成や手の表情 ・教科書作品の鑑賞	○			○	【知識・技能】 遠近法について理解している。 【思考・判断・表現】 名画の造形的なよさや美しさを理解して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 名画の模写表現に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

2学期	F「鳥の観察表現」 【知識及び技能】 骨格図により鳥の構造を理解し観察を基に、形態、質感、色彩などの造形的な特徴について理解を深める。 淡彩画を理解して表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 構図、鳥のプロポーション、鳥の動静感や質感を全体と細部に注意を払いながら捉え、混色を工夫して鳥のもつ様々な色合いを着彩表現する。 作家の表現技法について考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 表現したいイメージを持って取り組む。作りたい色を混色してつくる実験を行う。 教科書の作品から、発想のよさや個性、造形的な美しさに気づき、見方や感じ方を深める鑑賞の活動に主体的に取り組む。	指導項目 ・鉛筆描画－構図、プロポーション ・絵具着彩－淡彩表現、混色と重色 ・教科書作品の鑑賞（伊藤若冲など） 内容 鴨、ヤマドリなどのはく製を構図、混色を工夫して観察表現する。	○			○	【知識・技能】 構造、形態、質感、色彩などの造形的な特徴について理解を深めている。 鉛筆で描かれた線や濃淡を生かす淡彩画の技法を理解し創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 構図、プロポーション、動静感や質感を全体と細部に注意を払いながら捉え、自然物としての鳥がもつ複雑な色合いを混色や重色で着彩表現している。 作家の表現技法について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 構成を工夫したり表したい色を混色してつくり表現したいイメージをもち取り組もうとしている。　　教科書の作品から、発想のよさや個性、造形的な美しさに気づき、見方や感じ方を深める鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	G「私のSDGsな住まい」 【知識及び技能】 二点透視図法について理解し、一学期の平面構成学習を生かした配色をする。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマをを追求して表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 完成させる意欲をもち表す創造活動に、主体的に取り組む。	指導項目 ・SDGsについて ・二点透視図法 ・点景の表現 ・色彩計画 ・教科書作品の鑑賞 内容 二点透視図法をつかい、自然と共生する住宅や街並み、脱炭素社会に向けて新しい住宅のイメージを表現する。	○			○	【知識・技能】 二点透視図法について理解している。形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。 【思考・判断・表現】 イメージのある表現を追求している。 透視図で表現された作品の作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 完成させる意欲をもち主体的に取り組もうとしている。 表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
3学期	H「身近な生活から」 【知識及び技能】 一版多色木版画の制作プロセスを理解し、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 版画の表現のよさや特性を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 版による表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。	指導項目 ・テーマと表現 ・アイデアスケッチ ・一版多色木版画のプロセス ・陰刻の技法 ・重色の効果について ・教科書作品の鑑賞 内容 身近な生活からをテーマに印象に残る場面を一版多色木版画で表現する。	○			○	【知識・技能】 一版多色木版による表現の効果や版画の技法や材料、用具の特性を理解し、意図に応じて創意工夫し、主題を追求して表すことを理解している。 線や面などの版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考・判断・表現】 版画表現の特性を生かして主題を生成し、形体や構成、版の形式による効果などを考え、創造的な表現の構想を練っている。 版の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫との関連などを考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 版の特性を生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 版による表現の特性と作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	I「葛飾北斎と歌川広重」 【知識及び技能】 構図や色彩などの効果、版画の技術などに着目し、全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 浮世絵版画の発展の歴史や、作品のよさや美しさ、美術文化の継承と創造について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 美術や美術文化と豊かに関わり、浮世絵版画の鑑賞 の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	指導項目 ・教科書作品の鑑賞 ・小テスト 内容 教科書より「浮世絵版画の魅力」を取り上げ、浮世絵の歴史や二大山水画家である葛飾北斎と歌川広重の個性と表現の違いを考察する。				○	【知識・技能】 構図や色彩などの効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作 風、様式などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 浮世絵版画のよさや美しさ、美意識や創造性などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、浮世絵版画の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2 合計 70